

地域一体となった 三世代交流の大運動会

6月2日、途別小学校の大運動会が開催されました。児童と保護者、地域住民が参加する多彩な競技が行われ、熱い声援が会場に響いていました。



①毎年恒例、親子で踊る「とべつ子よさこい」②元気に競技するおじいちゃん、おばあちゃん③うさぎに扮した途別保育所の皆さん

シリーズ 途別小学校 まちの学校

今月号から毎月1校、町内の小・中学校を紹介していきます。

地域が力を合わせて

途別小学校の運動会は、学校のみならず三世代が交流する地域の一大イベントとなっています。児童が赤白に分かれ競い合うだけでなく、保育所の園児や保護者、地域のおじいちゃんやおばあちゃんも参加し、運動会を盛り上げていました。道具の準備など

に汗を流していた農家の青年団や途別保育所の皆さんのかけっこやお遊戯に「がんばれ！」と応援する児童や保護者の姿には、地域の一体感を感じました。親子で練習に励んだ「とべつ子よさこい」や、鋭いバチさばきで観客を魅了した「途別百年太鼓」などがあり、まさに地域が一体となって、作り上げた運動会でした。



◀旧途別小学校

昭和28年11月24日、木造2階建5教室と屋内体育館が建設されました。建設当時は児童数が増加傾向にあり、昭和33年の224人が最高となっています。



◀現在の途別小学校

開校80周年の年(昭和57年)、校舎の位置を高台から現在地に移し、鉄筋コンクリート造り2階建、総面積1,349平方メートル。総事業費は2億840万円で建設されました。

途別小学校 今昔物語

校章は、当時在職していた荒井教諭が制作、創立60周年を記念して制定されました。

三角形の突起物はペンの形をもじり、小学校の「小」と柏の葉、中央の「途」、周りはカタカナで「ベツ」を図案化、六角の雪の結晶、外側の二本の線は畑作、中にある「べ」の濁点で水稻を表現しています。



途別小学校 の沿革

学校概要

学校長 安孫子 徹
教員数 10人
学級数 5学級
(うち支援学級2学級)
生徒数 23人

※概要は平成24年5月1日現在

1902年(明治35年) 途別簡易教育所が開所
1916年(大正5年) 途別尋常小学校が開校
1925年(大正25年) PTAの前身となる保護者会が発足
1951年(昭和26年) 開校50周年記念式典
1961年(昭和36年) 開校60周年記念式典・校章と校歌が制定
1982年(昭和57年) 開校80周年記念式典・現在の校舎、屋体が完成
1986年(昭和61年) 現在も利用されている実習用水田が完成
2001年(平成13年) 開校100周年記念式典